


【応募用紙】

1 応募者概要

団体名	(ふりがな: よこはましりつこづくえしょうがっこう) 横浜市立小机小学校 サクラソウプロジェクト		
代表者の 役職・氏名	(ふりがな: すずき やすし) (役職) (氏名) 校長 鈴木 康史	会員数	(令和元年11月現在) 約 200 名
ホームページ アドレス	https:// www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kozukue/	活動開始年月	昭和・平成 21年 1月
活動範囲 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 学校内 <input checked="" type="checkbox"/> 2 学校外 (新横浜公園)		
活動分野 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 川・海・水 2 緑・樹林 3 農業 4 3R <input checked="" type="checkbox"/> 5 環境教育・学習 6 生物多様性 7 地球温暖化対策 8 その他()		
活動の目的や ねらい	準絶滅危惧種のサクラソウの自生地の復活を通じた、環境保全への意識付けと地域理解		
過去に受けた表彰 および受賞年度	(例) 横浜□□賞(平成○年度)		

2 最近3年間の主な活動

	活動・取組・イベント等の名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、 発行部数等	詳細内容
平成 29 年度	サクラソウでつなぐ小机小学校と新横浜公園のプロジェクト	小机小学校5・6年生、新横浜公園ほか 約 200 名	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校としての取組体制の見直し。 ● 6年生の一人一鉢育成(通年) ● 4月 新横浜公園でサクラソウの自生状況の観察 ● 1月 公園岸边へのサクラソウの植え付け ● 2月 6年生から5年生への根の移管
平成 30 年度	サクラソウでつなぐ小机小学校と新横浜公園のプロジェクト	小机小学校5・6年生、新横浜公園ほか 約 200 名	<ul style="list-style-type: none"> ● 6年生の一人一鉢育成(通年) ● 4月 新横浜公園でサクラソウの自生状況の観察 ● 1月 公園岸边へのサクラソウの植え付け ● 2月 6年生から5年生への根の移管 ● プランターに植えたサクラソウを商店街に置く
令和 元 年度	サクラソウでつなぐ小机小学校と新横浜公園のプロジェクト	小机小学校5・6年生、新横浜公園ほか 約 200 名	<ul style="list-style-type: none"> ● 6年生の一人一鉢育成(通年) ● 4月 新横浜公園でサクラソウの自生状況の観察 <div style="text-align: right;">  </div>

			 <p>新横浜公園での自生確認の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 12月 サクラソウの根掘出し ● 1月予定 公園岸辺へのサクラソウの植え付け ● 2月予定 次年度に向けて根の移管
--	--	--	--

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
学内の生徒等や教員、保護者との関わり	サクラソウプロジェクト 5・6年生 教職員 地域コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ● 6年生の一人一鉢育成（通年） ● 4月 新横浜公園でサクラソウの自生状況の観察 ● 12月 サクラソウの根の掘り出し ● 1月 公園岸辺へのサクラソウの植え付け ● 2月 6年生から5年生への根の移管
自治会・町内会との関わり		
学外団体との関わり	小机小学校学校支援運営委員会 「新横浜公園に桜草の水辺をつくろうプロジェクト」	地域コーディネーターが窓口となり、(公財)横浜市体育協会公園管理局「新横浜公園市民活動支援事業」の助成を受け、新横浜公園を活動場所としたサクラソウの群生地創出により、希少種の保護と自然豊かな公園づくりという観点から、「環境」「自然」の分野において貢献する。
企業等との関わり		
行政との関わり		
その他、環境以外の分野との関わり	横浜さくらそう会 (会長:三宅修次)	新横浜公園と共同でサクラソウの自生拡大を始めた。小学校5年の国語の教科書に「サクラソウとトラマルハナバチ」という説明が載っていた(H17～22)ので、学校と共同的な活動を願い地元の学校に声をかけた。本校以外にも一時共に取り組んだ学校があるが、現在は本校のみである。サクラソウの苗の提供や会長の三宅氏から移植に関するレクチャーを受けている。

4 団体の発足経緯、活動を始めたきっかけ

かつては春先にピンクや白のかわいい花を咲かせるサクラソウの自生地だった鶴見川流域も、防災や開発のために大半が消えてしまった。「小机」と名の付く種もあったが、一部の愛好家が保護している状況であった。

2009年1月に公園管理者と横浜さくらそう会が企画して「**新横浜公園さくらそう自生地復活プロジェクト**」が始まり、本校5年生が約150株の苗を育て、春に新横浜公園内に移植することでかつての湿地や農地だったころの風景の復活を願って始められた。

「小机」という地元種に活用することはできないが、洪水で流されては自生地を広げる特性をもつサクラソウが、再び岸边を彩る願いの実現を目指していた。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

「鶴見川は暴れ川」と小机小学校の児童に染み込んでいる。それは、鶴見川や新横浜公園（遊水地）、鶴見川流域センター(国土交通省)を学区にもち、子どもたちにとって身近な存在であることと、そこでの豊かな体験活動と専門家とのかかわりによるものである。本プロジェクトをとおして、かつての川の様子を慮りつつ、サクラソウの災害にも強い特性を感じる機会をもつ必要がある。

準絶滅危惧種であるサクラソウの自生の手助けという、地道ですぐには結果の見えない活動であるが、岸边の彩を求めて新横浜公園を訪れる方もいる。地域を理解し、地域に愛される子どもの育成を目指し、取り組んでいる。



この取組により、地域の公園である新横浜公園と岸边としての鶴見川への関心を高めることができている。また、5～6年生で引き継ぐ活動であり、学校の最上級生としての継承の一つの機会となっている。

大雨や浸水等もあり、自生地が目立って拡大しているというところではないが、春に公園を訪れた時にサクラソウを目にし、環境を守るという意識を新たにしている。

【参考】

新横浜公園スタッフブログ サクラソウ前線 <https://www.nissan-stadium.jp/blog/cat4/>

小机小学校 HP 小机日記 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kozukue/index.cfm/1,2608,44,194.html>

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

11年目を迎える活動であるが、8年目を迎えた平成29年には、活動の継続に課題が持ち上がった。どんな活動でもそうだが、異動等により立ち上げたメンバーが減るにつれてトーンダウンをしたり、外部指導者の高齢化などが起きたりするが、本活動でも学校内外に同様の課題が生じた。「横浜さくらそう会」主体で学校が協力する形であったが、「**新横浜公園さくらそう自生地復活プロジェクト**」を運営していくことも難しくなってきた。

そこで、職員会議で「地域コーディネーター」による学校支援運営委員会を置き学校外で連携して、児童や教職員が活動に専念できるようにし、「**新横浜公園に桜草の水辺をつくろうプロジェクト**」として、持続可能な体制を構築して3年になる。ラグビーワールドカップ™で広く知られるようになった通り新横浜公園自体が遊水地の機能を持ち、地道に自生地を広げていくことが必要な活動である。新しい学習指導要領の完全実施を次年度に控え、カリキュラム全体を見直す時期であり、今後の実施学年の変更なども含め今年度末に検討を予定している。しかし、これまで継続してきた活動の意義を理解することが、環境や地域について学ぶ貴重な機会であると考え、今後もゆったりと継続していく。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

小机小学校では、2年生では新横浜公園の協力を得てサツマイモ・サトイモの植え付けと収穫、4年生では鶴見川流域センターの協力を得て「水と緑の教室」での流水や生物観察の体験、新横浜公園での全校遠足での縦割り（学年を超えた）活動など、地元の貴重なフィールドとして鶴見川と新横浜公園にかかわっている。関わり深い新横浜公園で、10年を超える期間にわたり準絶滅危惧種の自生地拡大への取組を行っている。時代が移り行く中で、地域に貢献する活動として新たな枠組みの下でも3年を経て、今後の継続に向けて、改めてこの活動の意義を価値付けたい。

【参考資料】

●新横浜公園スタッフブログ

サクラソウ前線 <https://www.nissan-stadium.jp/blog/cat4/>

<https://www.nissan-stadium.jp/blog/2019/04/20190414.html>



[ホーム](#) | [イベント](#) | [サクラソウ前線](#) | [生き物観察日記](#) | [芝生観察日記](#) | [はなの便り](#) | [ラグビーコラム](#) | [その他](#)

サクラソウ前線63

投稿日:2019年4月14日 カテゴリ: [サクラソウ前線](#)

今年もサクラソウの花が咲き始めました。

横浜さくらそう会が苗を提供し、横浜市立小机小学校の5年生が校庭で里親として一年間育て、6年生となって卒業する前に新横浜公園の水路際に植えて卒業していくという取り組みも今年で10年目となりました。

そもそも、新横浜公園とサクラソウ、そして小机小学校の接点はというと、その昔、新横浜公園がある鶴見川の流域付近にはサクラソウの自生地があったという歴史を「横浜さくらそう会」さんが文献から探し出し、我々指定管理者に語ってくれたところから始まります。その中で、「小机」という名のついた野生種が存在したということで、是非「小机」という野生種を含むサクラソウの自生地を新横浜公園に復活させたいという「さくらそう会」さんの熱い思いを小机小学校さんにも共感していただき、このプロジェクトが始まりました。

今年の1月に6年生が植えてくれた苗も可憐な花を咲かせてくれています。

サクラソウが見られるのは北側園地の1号水路と3号水路です。今年は昨年の猛暑の影響で少し花付きが悪い気がありますが、4月下旬頃までは白やピンクの花が咲きますので是非足を運んでみてください。



最近のブログ記事

- [ラグビーコラム第8回](#)
- [新横浜公園生きもの観察日記317](#)
- [600本のマリーゴールドが見ごろ!](#)
- [新横浜公園生きもの観察日記316](#)
- [新横浜公園生きもの観察日記315](#)
- [芝生観察日記 第88話](#)
- [U字スロープ脇花壇植え替え](#)

カテゴリ

- [ラグビーコラム \(1\)](#)
- [新横浜公園フォトギャラリー \(26\)](#)
- [ヘイクボタル通信 \(9\)](#)
- [歳時記 \(11\)](#)
- [芝生観察日記 \(39\)](#)
- [その他 \(47\)](#)
- [日産スタジアムからのお知らせ \(1\)](#)
- [イベント \(94\)](#)
- [はなの便り \(48\)](#)
- [新横浜公園生き物観察日記 \(90\)](#)
- [サクラソウ前線 \(13\)](#)

アーカイブ

月を選択... ▾

サクラソウ前線60

投稿日:2015年2月10日 カテゴリ: [サクラソウ前線](#)

新横浜公園では、先日雪が降りました。幸い大雪にならず、日中は太陽が出る日が多いので雪は残っていませんが、北風は強く、寒い日が続いております。公園内の桜は花芽をつけ、暖くなるのを待っているようです。

さて、サクラソウ前線60です。

前回のブログで小机小学校6年生の活動を紹介しました。今回は、小机小学校5年生の活動についてです。

5年生にはサクラソウの苗をプランターに植込む作業をしてもらいました。使う苗は、先日6年生が掘り起こした苗です。小机小学校では代々6年生から苗が引き継がれ、7年目となった今では、学校行事の一つとなっています。



まず、作業の前に、横浜さくらそう会の方からサクラソウについてのお話をさせていただきました。118人の5年生のみんなは、サクラソウの話を聞くのは初めてです。分からないことも多いですが、真剣に話を聞いていました。説明が終わると、早速作業に取り掛かります。



軍手をつけて、サクラソウの苗を配り観察してもらいました。どの部分が根で、どの部分が芽なのか、そして芽を出すためにはどのように植えればいいのかなど、実物を見ると理解も早いようでした。あらかじめ土を入れたプランターに苗を均等に並べていきます。並べ終わったら、水をやり、苗と土を落ち着かせます。その上から苗が隠れるくらい土を被せて出来上がりです。そしてプランターをみんなで運び、この日の作業は終了です。



この日の作業は、これで終了ですが、5年生のみんなには、これから1年間育ててもらいます。3月に芽を出し、4月中旬には可憐な花を咲かせます。成長の様子を観察し、1年間育てた立派な苗を次の5年生に引き継ぎましょう。



5年生のみんなお疲れ様でした。3月上旬には6年生が新横浜公園に苗を植えに来ます。ブログの報告をお楽しみに。

●小机小学校 HP

小机日記 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kozukue/index.cfm/1,2608,44,194,html>



横浜市立
小机小学校
Kozukue Elementary School

検索

ホーム

- 学校紹介
- 学校経営
- 学校だより
- 小机日記
 - 2019年度
 - 2018年度**
 - 2017年度
 - 2016年度
- 教育相談
- 災害時の対応
- 児童作成のページ
- 和平小学校との交流

現在位置：[ホーム](#) > [小机日記](#) > [2018年度](#) > [6年生](#) **サクラソウプロジェクト**

6年生 サクラソウプロジェクト



1月24日(木)に6年生全員で新横浜公園にサクラソウの芽を植えに行きました。サクラソウ会の方、地域の方などたくさんの方に協力していただきながら、1年間大切に育ててきたサクラソウです。元気に育つようにという思いを込めて、みんなで丁寧に植えました。

このコンテンツに関連するキーワード [地域とのつながり](#) [6年生](#)

登録日: 2019年1月24日 / 更新日: 2019年1月24日

このカテゴリ内の他のページ

- [東京見学 \(6年生\)](#)
- 6年生 サクラソウプロジェクト**
- [おもちゃランド](#)

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kozukue/index.cfm/1,2441,44,192,html>



横浜市立
小机小学校
Kozukue Elementary School

検索

ホーム

- 学校紹介
- 学校経営
- 学校だより
- 小机日記
 - 2019年度
 - 2018年度
 - 2017年度**
 - 2016年度
- 教育相談
- 災害時の対応
- 児童作成のページ
- 和平小学校との交流

現在位置：[ホーム](#) > [小机日記](#) > [2017年度](#) > [サクラソウプロジェクト \(6年\)](#)

サクラソウプロジェクト (6年)

14日(木)の5校時に、「サクラソウプロジェクト」としてサクラソウの根の掘り返しと新しい根の植え付けの準備を行いました。サクラソウ協会の三宅さん、学校の花壇を手入れしてくださっている阿久津さん、地域コーディネーターの寺岡さん、石井さん、PTA会長の小金井さんのご協力を得て行いました。



今回根付いたサクラソウを、3月に新横浜公園に植え付けに行く予定です。春には、小機の町がサクラソウのきれいな花がたくさん見られるといいですね。

このコンテンツに関連するキーワード [地域とのつながり](#) [6年生](#)

登録日: 2018年2月15日 / 更新日: 2018年2月15日

このカテゴリ内の他のページ

リンク集

●小机小学校学校支援運営委員会の取組紹介

桜草でつなぐ小机小学校と新横浜公園プロジェクト

・参加者・・・小机小学校5・6年生 216名 教員8名
指導者2名 ボランティア3名

・時期・・・4月 公園岸边に咲くサクラソウの観察
11月 6年生一人一鉢 サクラソウ育成
12月 根の掘出し、選別
1月 6年生 公園岸边に植付
2月 5年生 一人一鉢 サクラソウ育成開始

1. 小机小学校学校 支援運営委員会



桜草でつなぐ小机小学校と 新横浜公園プロジェクト



6年生は4月から1年間
一人一鉢で水やりを続けます



1月
鉢の中で育った
新しいサクラソウの芽を
公園の岸边に植え付けます



新横浜公園の岸边が
サクラソウでいっぱいになることを
願って6年生から5年生へと
バトンは引き継がれていきます



卒業する6年生が5年生に
サクラソウの根を託します